

生誕250年記念展

酒井抱一と江戸琳派の全貌

プレスリリース



酒井抱一《夏秋草図屏風》(右隻) 東京国立博物館蔵 重要文化財
Image:TNM Image Archives Source: <http://TnmArchives.jp/>

展覧会情報

- 主催 = 千葉市美術館
会期 = 2011年10月10日(月・祝)～11月13日(日)
休館日 = 10月24日(月)、10月31日(月)
* 展示替のため展示室、ミュージアムショップは休室
* 本展会期中の第一月曜日(11月7日)は開館いたします
会場 = 千葉市美術館8・7階展示室
開館時間 = 10:00-18:00[毎週金・土曜日は20:00まで]
* 入場受付は閉館の30分前まで
* 開館時間は節電等のため変更となる場合がございます
観覧料 = 一般1000円(800円) / 大学生700円(560円)
* 小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
* ()内は団体20名以上、および千葉市内在住60歳以上の方の料金
* 前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(10月2日まで)、ローソンチケット(Lコード:33788)、セブンイレブン(セブンコード:013-267)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(11月13日まで)にて販売
* 10月18日(火)は「市民の日」につき無料開放

巡回情報

本展は下記の会場でも開催されます

姫路市立美術館
(2011年8月30日～10月2日)
細見美術館
(2012年4月10日～5月13日)

* 各会場で出品作品が異なります
(千葉市美術館のみ展示の作品もあります)

* 全作品を収録した図録を刊行します

展示替えスケジュール



- * 本展は10月24日、31日に展示替えを行います
- * リピーター割引をご利用下さい。本展チケット(有料)の半券のご提示で、2回目の観覧料が半額になります
- * 展覧会が何回でもご覧いただける「千葉市美術館友の会」も随時会員を募集しています

展覧会概要

粋と雅の競演。待望の酒井抱一大回顧展

酒井抱一(1761-1828)は、譜代大名・酒井雅楽頭家^{うたのかみ}の二男として江戸に生まれました。文芸を重んじる酒井家の家風を受け、若き日より俳諧や書画をたしなみ、二十代で狂歌や浮世絵などの江戸の市井文化にも手を染めた抱一は、三十七歳で出家して自由な立場に身を置きます。そのころから、宗達、光琳が京都で築いた琳派様式に傾倒し、江戸後期らしい新たな好みや洗練度を加えた、今日「江戸琳派」と呼ばれる新様式を確立していきます。風流で典雅な花鳥画を得意としながらも、風俗画や仏画、吉祥画や俳画などさまざまな主題や作風に対応しうる柔軟性を持ち、多くの文化人との関わりながら、独自の世界を作り上げました。

抱一の没後も江戸琳派は実^{まこと}に一世紀近く命脈を保ち、特に高弟の鈴木其^{きいつ}一(1796-1858)や、池田孤^{こそん}邨(1801-1866)らの幕末期の活躍は、近年大きな注目を浴びているところです。

本展は、抱一の生誕250年を記念し、代表作の《夏秋草図屏風》(重要文化財)をはじめとする優品の数々や、琳派展の文脈では視野から外されていた多様な作品を新出資料も含め多数紹介し、その画業を回顧します。あわせて、鈴木其^{きいつ}一ら後継者たちの個性も紹介し、江戸琳派の流れと近現代まで伏流となって生きつづけるその美意識を探ろうとするものです。

出品総数は300点(うち抱一作品は約160点、其^{きいつ}一作品は約60点)を超えますが、会期中には二回展示替えを行います。酒井抱一展として過去最大の規模、総合的な江戸琳派展としては初めての機会となります。

関連企画

■ オープニングトーク

第一話「抱一に魅せられて
—細見コレクションと江戸琳派」
講師：細見良行（細見美術館館長）

第二話「酒井抱一の大回顧展に寄せて」
講師：岡野智子（細見美術館上席研究員）

10月10日(月・祝) 13:00より 11階講堂にて
先着150名 聴講無料

■ 市民美術講座

「酒井抱一と江戸琳派～新出資料紹介を中心に」
講師：松尾知子（当館学芸員）
11月6日(日)14:00より 11階講堂にて
先着150名 聴講無料

■ ギャラリートーク

担当学芸員による - 10月12日(水)14:00より
ボランティアスタッフによる - 会期中の毎週水曜日
(10月12日を除く) 14:00より

■ 記念講演会（すべて事前申込制）

「酒井抱一の雅俗」 講師：小林忠（千葉市美術館館長）
10月16日(日)14:00より(13:30を開場予定) 11階講堂にて
定員150名 聴講無料
※ 申込み締切 10月10日(月・祝)[必着]

「鬼才・鈴木其一の魅力」 講師：河野元昭（秋田県立近代美術館館長）
10月23日(日)14:00より(13:30開場予定) 11階講堂にて
定員150名 聴講無料
※ 申込み締切 10月14日(金)[必着]

「酒井抱一と下谷^{したや}」 講師：河合正朝（慶應義塾大学名誉教授）
10月30日(日)14:00より(13:30開場予定) 11階講堂にて
定員150名 聴講無料
※ 申込み締切 10月21日(金)[必着]

【申込方法】

往復はがきに郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢、参加希望の企画、
人数(各2名までお申込可)を明記の上、下記までお送りください。
応募多数の場合は抽選となります。
*はがき1枚につき、1企画のお申込となります。

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 企画係

次回展予告

「瀧口修造とマルセル・デュシャン」
11月22日(火)～2012年1月29日(日)

美術評論家としても活躍した詩人・瀧口修造と20世紀美術の巨匠マルセル・デュシャンの交
流を、二人の作品や資料、関連作家の作品により跡づけます。



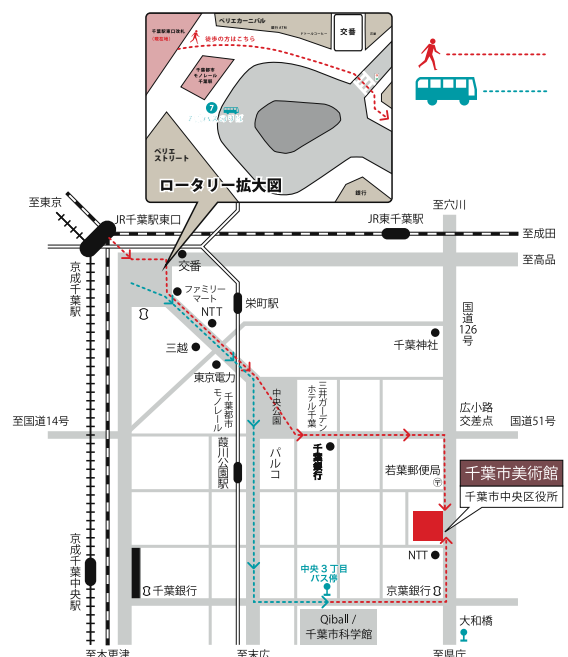
瀧口修造、岡崎和郎《検眼図》
1977年 千葉市美術館蔵

交通案内

千葉市美術館
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311 (代) FAX. 043-221-2316
<http://www.ccma-net.jp>



- ◎ JR 千葉駅東口より
 - ・徒歩約15分
 - ・バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩約3分
 - ・千葉都市モノレール県庁前方面行「霞川公園駅」下車徒歩約5分
- ◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- ◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
- ◎千葉市中央区役所と同じ建物です
- ◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください



『生誕 250 年記念展 酒井抱一と江戸琳派の全貌』展
ご紹介のお願い

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介しますようお願いいたします。
ご紹介いただけます場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてご連絡下さい。
使用はお申し込みの通り 1 回限りとし、内容をご了承ください。



1. 酒井抱一 《夏秋草図屏風》 東京国立博物館蔵 重要文化財 [第4・5週]
Image:TNM Image Archives Source:<http://TnmArchives.jp/>



2. 酒井抱一 《四季花鳥図巻》(部分) 東京国立博物館蔵 [第1・2・3週]
Image:TNM Image Archives Source:<http://TnmArchives.jp/>



3. 酒井抱一 《四季花鳥図屏風》 文化13年(1816) 陽明文庫蔵 [第3・4・5週]
☆



4. 鈴木其一 《夏秋溪流図屏風》 根津美術館蔵 [第1・2週]



5. 酒井抱一 《月に秋草図屏風》
文政8年(1825) 個人蔵



6. 酒井抱一 《桜に小禽図》
細見美術館蔵



7. 鈴木其一 《三十六歌仙図》
☆ 弘化2年(1845)
出光美術館蔵 [第1・2週]



8. 酒井抱一 《美人蜚蜂図》
☆ 天明8年(1788) 個人蔵



9. 酒井抱一下絵/原羊遊齋
☆ 《四季草花蝶鈿蒔絵茶箱》 個人蔵

会期中に展示替えを行います。[] 内はそれぞれの作品の展示期間となります。
*都合により予告なく展示期間を変更する場合がありますのでご了承ください。
*☆印は千葉市美術館のみ展示。

『生誕250年記念展 酒井抱一と江戸琳派の全貌』展 広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 恐れ入りますが、基本情報確認のため、広報担当まで一度原稿をお送り下さい。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付下さいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送り申し上げます。

千葉市美術館
広報担当行
FAX: 043-221-2316

貴社名：	媒体名：
ご担当者：	発行日予定：
ご連絡先電話：	発行部数：
FAX:	定価：
Email:	掲載予定コーナー名等：
画像到着希望日： 月 日 時まで	画像の掲載サイズ <small>（おおよそで結構です 例：10cm 四方、など）</small> ：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 酒井抱一 《夏秋草図屏風》 東京国立博物館蔵 重要文化財 Image:TNM Image Archives Source:http://TnmArchives.jp/
2. 酒井抱一 《四季花鳥図巻》（部分） 東京国立博物館蔵 Image:TNM Image Archives Source:http://TnmArchives.jp/
3. 酒井抱一 《四季花鳥図屏風》 文化13年(1816) 陽明文庫蔵
4. 鈴木其一 《夏秋溪流図屏風》 根津美術館蔵
5. 酒井抱一 《月に秋草図屏風》 文政8年(1825) 個人蔵
6. 酒井抱一 《桜に小禽図》 細見美術館蔵
7. 鈴木其一 《三十六歌仙図》 弘化2年(1845) 出光美術館蔵
8. 酒井抱一 《美人蛭狩図》 天明8年(1788) 個人蔵
9. 酒井抱一下絵／原羊遊齋作 《四季草花螺鈿蒔絵茶箱》 個人蔵

■ プレゼント用招待券申込

（ご希望の場合はチェックをつけてください）

5 組 10 名様 希望します。

（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先

ご住所：〒

問い合わせ先

千葉市美術館 〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

E-mail : matsuo@ccma-net.jp（担当学芸員 松尾知子）

isono@ccma-net.jp（広報担当 磯野 愛）

Tel. 043-221-2311（代表）/ 043-221-2313（直通）

Fax. 043-221-2316

HP. <http://www.ccma-net.jp/>